

大曲の風

首都圏大曲会会報 創刊号 平成18年2月発行 首都圏大曲会事務局 FAX 03-3811-7693 澁谷一男税理士事務所内

大曲の風

大曲の匂い



首都圏大曲会

会長 大釜 茂璋

東京に旅立つ日の光景が今も頭をよぎる。見送りに母と一緒に弟や妹もいた。広い田んぼの、またその遙か彼方に奥羽山脈が連なる。太平山の頂上が夕日に染まり、玉川鉄橋を渡って上野行の列車が近づいてくると、母がちよつと寂しそうな顔をして笑った。

◇ あの時、大曲の町には大曲の匂いがあった。駅の周辺はかすかにコールトールと蒸気の匂いがした。駅前の田口果物屋の前を通るとフルーツの香りがしたし、「銀長」からはいつもうどんの匂いが通りに漂っていた。月岡劇場を横目を通り過ぎ、田村薬局の前にさしかか

ると、アルコールの匂いがぷーんと鼻をついた。あれから五十年が過ぎた。

◇ この度首都圏大曲会から新たに広報紙を発行することになった。大曲を離れて首都圏で暮らす人々の連携を保ち、情報交換し、大曲を身近に感じ、愛していこうという趣旨からの発想である。

発行に際しては大仙市や大曲総合支所、そして大曲商工会議所をはじめとする多くの方々のご理解とご支援をいただいた。衷心より感謝申しあげる。

◇ 新幹線が通つてからは、大曲との距離はぐんと近くなった。手を伸ばせば届く距離に大曲はある。ふるさとの山を思い、川を思い、西山に浮かぶ白い雲を思うとき、それはさながら母の懷に抱かれた日の安らぎにつながる。私たちのふるさとを、そこで暮らす人々と一緒になって考え、この町の発展に結びつける行動を、この広報紙を通じみんなで盛り上げて行きたいと思う。

大仙市の人口

大仙市企画部総合政策課

課長 小松 辰巳

平成十七年は五年に一度の国勢調査の年でした。五年前の平成十二年の国勢調査では、合併前地域の総人口は九八、三二六人でしたが、今回の調査では大幅な人口減と推計しております。

国勢調査による大仙市の人口は、市としては、おおよそ九三、四〇〇人程度と集計しており、前回と比較して約五、〇〇〇人程度の減少となる見込みです。大仙市は昨年三月二十二日、八市町村で合併しましたが、今回の人口減少は、旧南外村の人口に匹敵します。五年間で南外村一村分の人口が減少したこととなります。今後、人口減少は続くと思いますが、「人が活き、人が集う、夢のある田園交流都市」の創造を目指し、住民と協働のまちづくりを続けてまいりますので、首都圏大曲会の皆様のご支援をお願いいたします。



株式会社 嶋田ハム

代表取締役 嶋田耕治

〒014-0016 大仙市若竹町26-23

TEL (0187) 63-1576

FAX (0187) 63-1578

加熱食肉製品
(加熱後包装)

平成17年度

首都圏大曲会総会報告

にぎやかな総会の様子から



栗林大仙市長の
ごあいさつ



物産販売中 懐かしいお漬物や野菜！



あきたこまちのおにぎりは
大人気！



平成16年度会計報告

(単位円)

収入の部		支出の部	
年会費	132,000	振込手数料	2,800
合計	132,000	合計	2,800
収支差引残高 129,200円は次年度繰越金			

平成17年度予算(案)

(H 17. 5. 1 ~ H 18. 4. 30)

収入の部		支出の部	
前期繰越金	129,200	通信費	30,000
年会費収入見込	174,000	交通費	70,000
総会費	1,300,000	総会費	1,300,000
		事務用品費	10,000
		交際費	70,000
		予備費	123,200
合計	1,603,200	合計	1,603,200

年会費は1,000円です。(総会連絡等に関する通信費です。)

☆事務局より「年会費の納入」について

平成17年7月の総会で出席の有無を確認の際、会員として登録の意思表示を示しておられながら年会費の納入を失念していらっしゃる方、及び回答のなかった方で、会員として継続希望の方は年会費の納入を宜しくお願い致します。

モンドセレクション
金賞受賞蔵

秋田生酛純米
特別純米酒 李空
純米大吟醸 天巧

創業一二〇余年。
自然の恵みの美味しさを
お届けします。

代表取締役社長
小玉真一郎

太平山

http://www.kodamajozo.co.jp/k_index.html



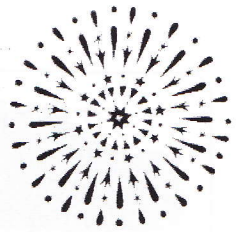
大曲商工会議所

会頭 高柳 恭侑

〒014-0027 大仙市大曲通町8番50号

TEL 0187-62-1262 FAX0187-62-1265

URL <http://www.obako.or.jp/kaigisho/>



大仙市となつて

初めての総会

首都圏大曲会 副会長 大友 律子

昨年7月に開催された

れた。

平成17年度「首都圏大曲会総会」は、大仙市となつて初めての総会となった。栗林大仙市長はじめ、衆議院議員御法川信英氏、在京ふるさと会から4名、大曲商工会議所会頭高柳恭侑氏、秋田県東京事務所所長本間智氏、秋田おばこ農協大曲支所担当理事池田正孝氏のご出席を頂いた。

開催日時

平成17年7月14日(木)

午後6時30分より

場所 帝国ホテル

2階「光の間」

出席者は130名

(全会員324名)

会の開催前に今年初めての試みとして平成16年実施の「大曲の花火」DVD(約6分)を放映した。出席した会員の方々は映し出される花火を見て、懐かしさと嬉しさのあまり涙ぐむ人も見受けら

総会は6時30分より行われ、旧母体の世話人代表の棟方宏一氏が、今年度、市から独立して初めての「首都圏大曲会」を開催するまでの経過説明を行った。併せて「会則」を発表し、全員の承認を得た。続いて、役員・幹事の紹介を行い、それぞれ承認を得、総会は終了した。次に懇親会に移り、出席された来賓の大仙市市長の栗林次美氏、衆議院議員の御法川信英氏からご挨拶を頂いた。その後地区ごとに分かれたテーブルでの懇談に移った。恒例の華やかなフラダンス愛好会の方々の披露があり、会是一年ぶりに元氣な再会をした会員同士の会話で賑わっていた。そして、この会のお楽しみの一つとなっているビンゴゲームが始まった。市からの働きか

けと、幹事が事前に大曲に出向き景品提供の依頼をしていたこともあり、20社からの豪華で沢山の協賛を頂くことが出来た。そのせいか昨年よりも長い時間を費やすことになった。会場での「ビンゴー！」と叫ぶ出席者は昨年に比べかなり多く、会員は童心に返って熱中した人も大勢いた。会場入り口では内小友地区の生産者のみなさんがお漬物や新鮮な野菜を販売し、予約をしないと購入できないほど人気。懐かしいふるさとの味を買い求める会員で賑わった。また、ホテルのお料理に加え、JA大曲提供の「あきたこまち」のおにぎりは好評だった。なお、お土産にも「あきたこまち」の新米が用意された。最後に新会長の大釜茂璋氏が挨拶をし、会は盛会裏に終了した。



集まった景品の数々



ビンゴゲームの司会者



恒例となったフラダンス

加賀谷福二 税理士事務所

税理士 **加賀谷 福二**

(登録番号 83127)

〒130-0005 東京都墨田区東駒形 4-19-7
ナイスアーバン 502 号

TEL&FAX 03-3829-3276

澁谷一男 税理士事務所

税理士 **澁谷 一男**

〒113-0033 東京都文京区本郷1-21-7-601

TEL 03-3811-0326 FAX 03-3811-7693

「広報だいせん」 の送付について

大仙市は原則月2回、「広報だいせん」を発行しています。これは大仙市の行事や様々な情報をわかりやすく市民に広報するために秘書広報課が発行し、B5版のカラー(約20ページ)で構成されています。広報は大仙市のホームページ(<http://www.city.daisen.akita.jp>)でもご覧になれますが、18年度から大仙市外の居住者で希望者には申請すると有料で送付します。

【申請期間】4月1ヶ月間

【送付期間】月2回、毎発行時。但し4月分については5月分と一緒に送付。

【申込み先】

大仙市企画部秘書広報課

【実費の負担】

申請時、郵便小為替で2千円納付のこと。

旧大曲市のトピックス

大仙市女性センター所長 佐々木恭子

●大仙市のJR大曲駅前に温泉が沸き出て話題になっています。これは横手市のホテル業者が昨年8月下旬から掘削作業を行っていたもので、11月に入って地下1,000メートル地点からお湯が噴出し「駅前で温泉が出た」と市民の期待を集めています。泉質は調査中ですが、温度は55度で湯量も豊富とのこと。

●旧大曲市が地域の活性化を目指そうとして策定した「いきいきビジョン事業」が各地区の特性をいかして、アイデアいっぱいに展開されています。

大曲地区:では、街部では市の中心部を流れる丸子川に親しもうと9月にカヌー大会を実施、農村部では国の指定重要文化財・古四王神社について、地域の宝である神社をもっとよく知ろうと月1回勉強会を開催しています。

大川西根地区:では、地元に全校音楽で知られる大川西根小学校があり、音楽を通して地域の特性を打ち出そうと、その第1弾として10月にミニ野外音楽会「太鼓の夕べ」を企画。勇壮な太鼓の音色が西山一帯に響き渡りました。

内小友地区:では、余目地区のグループが、同地区を流れる高寺川はゲンジボタルとヘイケボタルが生息する貴重な場所ですが、この貴重な環境を守り、ホタルの里として地域の活性化に結びつけようと立ち上がりました。昨年夏は、ホタルがともす明かりに沢山の人々が感動していました。また、同地域はソバの栽培にも挑戦し、11月には収穫したソバの試食会を行い、参加者全員が新ソバに舌鼓を打ちました。

角間川地区:では、川で栄えた町として郷土の歴史・文化・伝統を未来につなげようと川魚料理の普及や旧大曲市民俗無形文化財第1号に指定された「角間川盆踊り」の継承と拡大に力を入れています。

花館地区:では、山(松山)・川(雄物川・玉川)を利用したイベントを計画しており、藤木地区では、地域の特色を「農業」とし、農業に関わる事業の展開を計画。

四ッ屋地区:でも地域に根ざした事業を計画中です。

乳頭温泉郷

黒湯温泉

〒014-1201 仙北市田沢湖生保内字黒湯沢2-1

TEL 0187-46-2214 FAX 0187-46-2280

《編集後記》

★皆さんは花火というと夏!と思っていませんか? 実は冬の方が空の状態が良く、色鮮やかにくっきり綺麗に見えるのです。花火ツウの大曲の皆さんにはおなじみの「新作花火コレクション」が、平成18年3月18日(土)に開催!会場は、秋田自動車道大曲IC近くの大曲ファミリースキー場。まだまだ寒い大曲。風邪をひかないように暖かくして見に行きたいものですね。

お問合せは▶NPO法人大曲花火倶楽部まで。 ☎ 0187-62-6887

★突然決まった会報発行にあたふた…お楽しみいただけましたでしょうか? 最後に、記事をお寄せてくださった方、広告掲載のご協力をいただいた皆さま方に心より御礼申し上げます。有難うございました。(編集担当♪仁)

三杯もち とうふかまぼこ

つじや菓子店

大仙市大曲中通町7-14 ☎ 0187-62-0494

くすり・化粧品

下山支店

〒014-0061 大仙市大曲栄町8-7
TEL 0187-63-2227 FAX 0187-63-2228